



学校だより

# 北の子通信

秦野市立  
北小学校  
5月号

令和7年  
5月13日

## 自己肯定感を高める人づくり

あたらし せいかつ げつ す ことし いま いじょう かん げんき  
新しい生活となり、1か月が過ぎました。今年になって今まで以上に感じていることは、『元  
あいさつ かえ ちいき みなさま ほ  
気な挨拶がたくさん返ってくる』ということです。これまでも地域の皆様に褒められてきましたが、  
うれ あさ こうちよう ま こうちよういじょう げんき  
とても嬉しいです。朝から校長も負けないくらいテンションMAXですが、校長以上に元気い  
こ おお きょう たの どうこう ようす うかが あいさつ ふくざつ にんげんかんけい  
っぱいな子どもが多く、今日を楽しみに登校している様子が伺えます。『挨拶は複雑な人間関係を  
かんわ じろん ゆた かんけい すす おも やす じかん  
緩和させる』という自論があり、より豊かな関係づくりが進むとよいと思っています。休み時間の  
ようす そと げんき あそ こ おお こうてい にぎ かんせい こうちようしつ こちち き  
様子も、外で元気よく遊ぶ子どもが多く、校庭の賑わう歓声が校長室まで心地よく聞こえてき  
こうちようしつ どうよう いがくねんこうりゅう かって すす ごけいてき かんけい つむ やす  
ます。校長室はこれまで同様、異学年交流が勝手に進み、互恵的な関係が紡がれています。休み  
じかん お きょうしつ もど すがた おも きょう ひ  
時間が終わり「おじゃましました～」と教室へ戻る姿をみて思うのは「ああ今日もなんていい日！」  
きたしょうがっこう だれ あんしん あんぜん じゆう がっこうせいかつ おく ねが あす  
北小学校は、誰もが安心・安全で自由にのびのびと学校生活を送れることを願い、明日  
かよ つと がっこう めざ ほくゆうかい じどうかいほんぶ きたちゅう  
も通いたくなる、勤めたくなる学校を目指しています。まずは、北友会（児童会本部）、北中  
せいとかい ほんぶ うんえいいいん みなさま きたちくせいしょうねんくせいぶかい みなさまかた うんどう  
生徒会、PTA本部・運営委員の皆様、北地区青少年育成部会の皆様方とのあいさつ運動を  
けいぞく ひと かと あいて きも かんが  
継続していきながらよりよい人とのかかわり方、相手の気持ちを考えられることについて  
じょうせい かんが ねが  
ゆっくり醸成していきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

じょうき じょうしつ はい じかん こ  
上記のようなスタートですが、教室に入るのにドキドキしたり時間がかかったりする子  
こんねんどあたらし ひと きた こ じしゅてき かいせつ  
ども達等もおります。今年度新しいチャレンジの一つに「北っ子ルーム」を自主的に開設  
あ きた こ きょうしよくいん りかい きょうりよく し  
していることが挙げられます。「北っ子ルーム」は教職員の理解と協力により（市から  
せんになきょうゆ はいち たんどうきょうゆ はいち よ  
専任教諭を配置されているわけではないため）担当教諭を配置することができました。世の  
なか しんたいてき きゅうよう ばしょ せいしんてき きゅうよう ばしょ  
中では、身体的に休養する場所（クールダウン）と精神的に休養をする場所（カムダウ  
ひつよう きた こ りょうめん か いばしょ  
ン）が必要とされています。「北っ子ルーム」は、その両面を兼ねそろえた居場所にしよう  
てさぐ うんよう わたし こ きたしょう かよ きょうしつ  
と手探りの運用でスタートしています。私たちは、子どもたちの「北小に通いたい」「教室  
がくしゅう など たしゅたよう てっいてき よ そ つづ ひとりひとりこと  
でみんなと学習したい」等の多種多様なニーズに徹底的に寄り添い続け、一人一人異なる  
さいてきかい みちび だ かんが き てん こうちよう  
最適解を導き出していきたいと考えています。お気づきの点がございましたら校長まで。